

尾張旭市と名古屋産業大学、名古屋経営短期大学との 包括的連携協力に関する協定趣意書

尾張旭市と名古屋産業大学、名古屋経営短期大学は、幅広い分野において連携協力し地域社会の発展に寄与するため、包括的連携協力に関する協定を締結した。

尾張旭市は、昭和 45 年 12 月 1 日に市制を施行し、平成 22 年度に市制 40 周年を迎える。市では、現在まちづくりを計画的に進めるうえでの指針となる「尾張旭市第四次総合計画」に定めた将来の都市像「ともにつくる元気あふれる公園都市」の実現を目指し、「健康」、「安全安心」、「教育・子育て支援」、「環境」の 4 つを重点分野としてまちづくりを進めている。

名古屋産業大学は、平成 12 年 4 月に開学し、菊武学園の建学の精神「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」のもと「ビジネス活動において、環境と情報に関する専門的知識を活かし、産業・経済の発展に寄与することができる人材を育成する。」を基本理念に、地域で唯一の高等教育機関として活動し、平成 22 年度に開学 10 周年を迎える。

名古屋経営短期大学は、名古屋産業大学の平成 12 年度開学を機に 35 年の伝統のあった名古屋女子商科短期大学から大学の名称を変更し、従来の「総合ビジネス学科」に加え、平成 19 年度以降、地域からのニーズも高い「子ども学科」「健康福祉学科」を配置するに至り、平成 22 年度に開学 45 周年を迎える。

昨今、市や両大学を取り巻く環境は大きな転換期を迎えている。

市においては、市民起点、成果重視の行財政運営を進めるにあたり、市域における「知の拠点」である両大学の持つ知的・人的資源を生かしまちづくりを進めることが求められている。

一方、両大学においては、これまでも地域開放型講座等を実施するなど地域社会との関わり合いを持ってきたところであるが、今まで以上に地域社会に根ざした「社会に開かれた大学づくり」「個性ある大学づくり」が期待されている。

市と両大学はまちづくりや地域の活性化、両大学が持つ環境、情報、ビジネス、社会福祉、健康分野などにおける知的・人的資源や施設などの活用といった事項において、市民生活及び文化の向上や地域社会の今日的諸課題の解決に寄与するため、包括的連携協力に関する協定を締結し、互いに計画的・継続的な連携を図る。

平成 22 年 3 月 14 日

尾張旭市
名古屋産業大学
名古屋経営短期大学